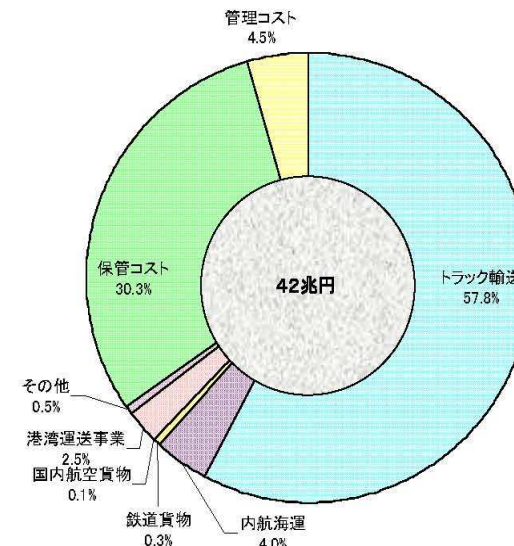


● 物流業の概況

国土交通省のデータによると、物流関係業の営業収入総計は概ね20兆円規模、従業員数は約144万人。
日本ロジスティクス協会の推計によると、自営を含む物流市場規模総計は約42兆円。

区分	営業収入	事業者数	従業員数	中小企業の割合
トラック運送事業	11兆754億円	58,146	117万3千人	99.9%
JR貨物	1,574億円	1	7千人	0.0%
内航海運業	1兆7,888億円	5,096	2万6千人	99.5%
外航海運業	2兆8,562億円	250	9千人	48.9%
港湾運送業	1兆945億円	977	5万4千人	92.6%
航空貨物運送事業	3,521億円	16	4万3千人	68.8%
鉄道利用運送事業	2,717億円	926	8千人	88.2%
外航利用運送事業	2,239億円	438	3千人	74.4%
航空利用運送事業	6,271億円	130	1万3千人	54.7%
倉庫業	1兆6,772億円	5,026	10万3千人	90.8%
トラックターミナル業	335億円	18	0.6千人	94.4%
合計	約20兆円	約7万	約144万人	--

＜参考＞物流市場規模（自営含）



出典：2003年度物流コスト調査報告書（JILS）

注）保管コスト：製品・原材料などを時価倉庫及び営業倉庫に保管・荷役することによって発生する価格。
管理コスト：荷主による物流に関わる一般管理費。

（注）各々の調査方法、調査期間が異なるため、合計欄は概数で表示している。

出典：国土交通省